

# 最終目標は行動する力

## 地域発！みんながつながるネットワークづくり

### いのち・愛・人権

#### 講座の状況は？

「青谷町みんなで学ぶ人権・同和教育講座」を企画している、人権教育推進員山根加恵さんにお話を伺いました。これらの取り組みから、私たちも人権意識を高めるための元氣やパワーをもらいましょう！

鳥取県では、全国に先駆けて「鳥取県人権尊重の社会づくり条例」が制定されています。そこで、青谷地域でもさまざまな人権問題について、住民が学んでいくことが早急に求められる課題だと考え、1988年に年3回の開催でスタートしていた講座を、1999年からは10回に増やして学習するよう企画しました。

この講座は、人権に関するさまざまな課題を学ぶ中で、それぞれの「差別」がどのように関連しているかを段階を追って学習することを目的に、連続講座としました。

市町村合併を機に、青谷地域以外にも呼びかけを行った結果、参加者も増えていきます。

#### 講座の取り組みから

特に、講座の中にハンセン病

問題を取りあげました。その理由は、以前、地域全体でハンセン病問題に関する取り組みがなされ、地元出身の方の里帰りが実現したという、用瀬地域の町民集會に参加した時、その住民のパワーに共感し、青谷地域で

もなんとか取り組むことはできないかと考えたからです。そこでまず、長島愛生園に研修に行き、そしてその後、青谷地域出身の方にも会いに行きました。さらに、多摩全生園の青谷地域出身の方をお迎えするなど、ハンセン病問題がより身近に感じられ、青谷地域として画期的なことでした。

#### 人権確立の青谷地域を

この講座では、たくさんの人

#### 参加者の声



「子どもの人権について」の参加型学習



「先住民族アイヌとして生きる」の講演

百聞は一見にしかずで、体験してみないと分からないものだと思つた。参加型学習を通して痛感した。

参加の回数を重ねるたびに、さまざまな考え方との出会いがあり、楽しいと思うようになった。

子どもとの関わりあいや、自分自身の人権感覚を振り返ることなど、講座で学んだことを生活の中で実践したい。

との関わり合いから人権について学んでいます。そして、多くの人とのネットワークが広がります。皆さんの情報を発信していただきます。これらの企画をすることにより、私自身がさまざまな人と繋がり、ともに生きていくことの安心感を得ることができました。参加者にはより多くの出会いを提供できるよう、今後この講座を計画的に進めていければと思っています。

さらに、日常の生活の中にある、人権に関する問題に対して「それっておかしいんじゃない」、「変だなあ」、「私はどうだろう」と、問題意識をもって学習できるようにしたいと思います。そして人権意識を高め、生活の中に活かすことができるようにしたいと思つています。それが人権のまちづくりにつながると思つています。

参加者が一歩ずつ自分の行動化につなげることが目標であり、そのために大切なことが、一人ひとりの行動力です！

#### 問い合わせ先

市役所第2庁舎人権・同和教育課  
 (0857) 20・3376